

平成
28年度

当初予算

予算総額

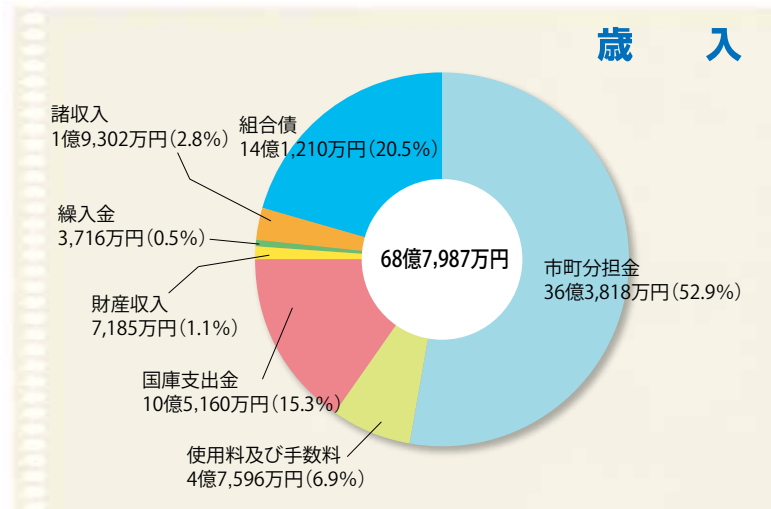
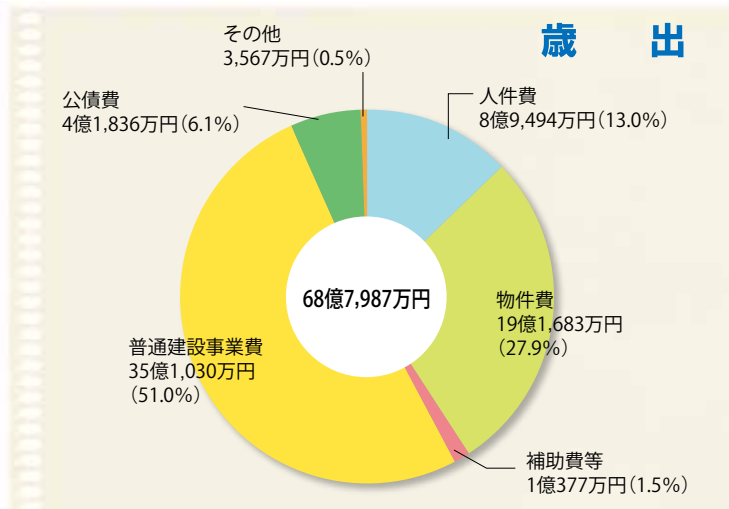
68億7,987万円（前年度比23億8,107万円増）

市町分担金

36億3,818万円（前年度比2億5,657万円増）

新折居清掃工場建設と安心・安全な工場運営に向けた予算

28年度の予算総額は、（仮称）新折居清掃工場建設工事の本格化により大きく増加しますが、必要性、緊急性、費用対効果等について評価を加え、限られた予算の中で選択と集中を行うことにより、効率的で実効性の高い予算としています。



- 人件費は、給与の適正化と職員数の削減等の行財政改革の累積効果により、前年度比401万円の減少
- 物件費は、し尿収集運搬委託料の減少や折居清掃工場に係る経費の減少などにより、前年度比3,851万円の減少
- 普通建設事業費は、（仮称）新折居清掃工場建設工事や、安全な工場運営を確保するための施設改修整備工事等の実施により前年度比25億2,240万円の増加

歳入の特徴

- 市町分担金は、（仮称）新折居清掃工場建設工事の本格化及びクリーン21長谷山の老朽化対策経費などにより、前年度比2億5,657万円の増加
- 財産収入は、鉄、アルミ等の売却価格が大幅に下落したことなどにより、前年度比1億676万円の減少
- 諸収入は、発電効率の上昇により発電収入の増収が見込まれることなどにより前年度比1,370万円の増加

平成28年度の主な事業

- ①新折居清掃工場の平成30年度稼働に向けた事業工程を着実に進捗させる。
- ②し尿及び浄化槽汚泥の効率的な処理のため、し尿等を全量下水道へ排水することに向けた施設整備等に取り組む。
- ③施設の適正な管理、老朽化対策等の計画的な整備に一層努め、機能の維持・向上を図る。
- ④環境マネジメントシステムの日常業務への組み込みを一層進めるとともに、地球温暖化防止対策実行計画（第3期）「地球元気プランⅢ」の推進など地球環境保全に向けた取組や廃棄物処理事業の情報発信強化に努める。



▲新折居清掃工場完成イメージ